



普天間飛行場代替施設建設事業について



キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業について、辺野古側においては平成29(2017)年11月から護岸工事に、平成30(2018)年12月には埋立工事にそれぞれ着手し、埋立工事がおおむね完了しています。

また、令和5(2023)年12月に変更承認申請の承認を得たことから、令和6年(2024)1月には大浦湾側の工事に着手しており、同年12月には大浦湾側の地盤改良工事に着手しています。

令和7(2025)年8月までにN-1護岸、N-2護岸及びN-8護岸の施工がおおむね完了し、同年9月にはN-9護岸の施工に着手するなど、工事が着実に進捗しています。

引き続き、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現し、そして、基地負担の軽減を図るため、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境にも十分配慮しながら、移設に向けた工事を着実に進めてまいります。

目次

CONTENTS

<ul style="list-style-type: none"> ◆環境監視等委員会(第54～55回)を開催…………… 2 ◆沖縄防衛局長感謝状を贈呈…………… 2 ◆令和7(2025)年度特別優秀工事等顕彰式…………… 3 ◆新幹部紹介…………… 4 ◆米海軍による慰霊の日前夜の 灯火イベントへのボランティア活動…………… 5 ◆宜野湾ハーレー大会で普天間海兵隊チームが善戦…………… 6 ◆久志区アブシバレーハーレー大会…………… 7 ◆豊原区アブシバレーハーレー大会…………… 7 	<ul style="list-style-type: none"> ◆辺野古区ハーレー大会…………… 7 ◆うるま市天願公園落成式…………… 8 ◆UH-1Yヘリコプターからの落下事案…………… 9 ◆沖縄県主催の不発弾対策パネル展への協力出展…………… 9 ◆駐留軍施設の用地買収…………… 10 ◆相続登記の義務化…………… 10 ◆読谷村大木南土地区画整理事業竣工式…………… 11 ◆駐留軍従業員への石綿(アスベスト)被害の救済措置…………… 11 ◆在日米軍従業員募集広告…………… 12
--	---

環境監視等委員会（第54～55回）を開催



第55回環境監視等委員会の様子

令和7（2025）年5月（第54回）、同年8月（第55回）に「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境監視等委員会」を開催しました。

同委員会では工事における水の濁りや移植・移築したサンゴ類の生息状況などについて当局から説明を行い、議論が行われました。

普天間飛行場代替施設建設事業の実施に当たっては、これまでも同委員会の指導・助言を踏まえ、適切な環境保全に努めており、引き続き、適切に環境保全措置を講じてまいります。



（左から）伊藤前沖縄防衛局長、山内那覇地区漁業協同組合代表理事組合長、中西浦添宜野湾漁業協同組合代表理事組合長、仲田前金武町軍用地地主会会長、松島管理部長



（左から）
嵩西与那国町漁業協同組合代表理事組合長
松島管理部長

防衛省においては、例年、防衛省・自衛隊の活動や事務の遂行に著しい功績があった方に対して沖縄防衛局長より感謝状を贈呈しています。

今般、沖縄防衛局管内においては、防衛施設の安定的使用に多大なご協力を賜った仲田前金武町軍用地地主会会長、提供水域の安定的使用に多大なご協力を賜った山内那覇地区漁業協同組合代表理事組合長、中西浦添宜野湾漁業協同組合代表理事組合長、嵩西与那国町漁業協同組合代表理事組合長の4名の方に感謝状が贈呈されました。

沖縄防衛局としては、受賞された方々のご協力・ご理解に深く感謝するとともに、今後とも、引き続き沖縄の負担軽減に努めてまいります。

沖縄防衛局長感謝状を贈呈

令和7(2025)年度特別優秀工事等顕彰式

● 特別優秀工事

工事名	受注者名
奥間(4)防災施設(1319)整備土木工事	株式会社北勝建設
シュワブ(R5)造成工事(1工区)	大成建設・五洋建設・國場組 JV
シュワブ(R5)造成工事(2工区)	大林組・東洋建設・屋部土建 JV
瑞慶覧(R3)雨水排水路改修整備土木工事	太名嘉組・光南建設 JV
トリイ(R4)整備施設(1008)新設建築工事	安藤・間・東開発 JV

● 優秀工事

工事名	受注者名
シュワブ(R4)厚生施設等造成追加工事	渡辺組・北勝建設 JV
シュワブ(R5)運動施設伐採工事(その1)	株式会社タマキ
石垣島(4)火薬庫新設土木その他工事	鴻池組・大寛組・米盛建設工業 JV
瑞慶覧(R4)家族住宅新設造成等工事(その2)	先嶋建設・向陽技建 JV
瑞慶覧(R4)家族住宅(797)雨水排水整備工事(その2)	竹中土木・丸憲・三善建設 JV
瑞慶覧(R3)家族住宅(797)雨水排水整備工事(その3)	前田建設工業・國場組 JV
陸自宮古島(5)廠舎新設建築工事	屋部土建・古波蔵組 JV
陸自宮古島(5)宿舎新設建築工事	青木あすなる建設・共和産業 JV
陸自宮古島(5)消防車庫新設建築工事	(株)佐平建設
石垣島(4)車両整備場新設建築工事	五洋建設・仲本工業・栄三建設 JV
久米島(5補)既設建物解体工事	久米建設(株)
シュワブ(R5)体育館新設建築追加工事	大成建設・東開発 JV
陸自宮古島(4)倉庫新設電気その他工事	日進電気土木(株)
陸自宮古島(5)廠舎新設等機械工事	國和設備工業(株)
陸自宮古島(5)運動施設新設等電気その他工事	第一工業(株)
普天間(3)隊舎(431)改修電気その他工事・普天間(4補)隊舎(431)改修電気その他追加工事	(株)那覇電工
トリイ(R3)倉庫(1005)新設建築工事	奥村組・上門工業 JV
瑞慶覧(R3)運動施設(4270)新設土木工事(その1)	國場組・丸内 JV
瑞慶覧(R3)運動施設(4270)新設土木工事(その2)	北勝建設・栄野比土建 JV
シュワブ(R3)美謝川整備工事	東亜建設工業・大寛組・富島建設 JV
トリイ(R4)保安施設(1007)新設土木工事	琉球開発・北勝建設 JV

● 特別優秀業務

業務名	受注者名
シュワブ(R3)サンゴ類モニタリング等業務	エコー・沖縄環境保全研究所 JV

● 優秀業務

業務名	受注者名
シュワブ(R4)庁舎等総合設計	PCKK・松田平田設計・産研設計・日建設計 JV
空自那覇(5)局舎新設基本検討	梓設計・産研設計 JV
陸自那覇外(5)隊庁舎新設等建築設計	(株)泉創建エンジニアリング
勝連(6)宿舎新設建築設計	(株)中林建築設計事務所
勝連外(4)設備工事監理業務	(株)産研設計 沖縄事務所
シュワブ(R5)水域生物等調査	いであ(株)沖縄支社
シュワブ(R5)陸域生物等調査	(株)沖縄環境保全研究所
石垣(5)造成等調査設計	(株)協和コンサルタンツ

防衛省では、地方防衛局等が発注する建設工事及び業務のうち、施工状況や実施状況等が特に優れているなど、他の模範とするにふさわしいものについて、特別優秀工事等として大臣官房施設監が顕彰する制度を平成29(2017)年に創設しました。第9回目となる今年度においては、沖縄防衛局から5件の工事及び1件の業務並びにその技術者を推薦したところ、全ての工事等が選定されました。

また、沖縄防衛局においても、成績評定点の高い工事及び業務の中から、目的物の出来形又は品質の優れているものであって、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事等として顕彰しております。令和6(2024)年度に完成・完了した事案の中から、22件の工事及び8件の業務並びにその技術者を選定しました。

本顕彰制度は、入札参加者の受注意欲を高め、建設工事及び業務目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的としており、顕彰された実績は、総合評価方式等における企業の施工能力や技術者の能力の評価項目において加点することとしています。

今後とも当局で発注する工事及び業務の入札に積極的に参加していただきますようお願いいたします。



新 幹 部 紹 介



局長 むらい まさる 村井 勝

8月1日付で沖縄防衛局長を拝命しました村井です。沖縄防衛局における勤務は3年半ぶり2度目となります。「沖縄統合計画」に基づく嘉手納以南の土地の返還を早期に実現できるよう、また基地にかかわる様々な課題を一つ一つ解決していくことができるよう、関係自治体や地域の皆様方ともよく連携し、職員とともに努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。



次長 しばやま けんいち 柴山 憲一

8月1日付で沖縄防衛局次長を拝命しました柴山です。沖縄での勤務は3年ぶり2回目（前回は防衛局企画部次長）となります。県内のできるだけ多くの方々と関わりを持ち、防衛省の政策や自衛隊・在日米軍の活動等につきまして、関係地方公共団体や住民の皆様から更なる御理解、御協力を得られますよう、まさに、地域の皆様と沖縄に所在する自衛隊・在日米軍との「懸け橋」として、誠心誠意努めてまいります。

また、前回コロナ渦でなかなか実現できなかった、沖縄の自然、文化、歴史等にも触れながら、沖縄の魅力を味わいたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



次長 いやま しげる 井山 繁

7月1日付で沖縄防衛局次長を拝命しました井山です。国土交通省からの出向でこれまでは主に港湾・空港の整備にかかわる仕事をしてきました。防衛省に関係の深い仕事としては内閣官房（安危）や国土交通省の危機管理室で国民保護法の運用や特定利用港湾・空港の取り組みの仕事もさせていただいたこともあります。沖縄は勤務地としては初めてで、やや不慣れではありますが円滑に事業が進むよう取り組んで参りたいと思いますのでよろしく願いいたします。



企画部長 しも こうぞう 下 幸蔵

8月1日付で企画部長を拝命しました下です。これまで本省において沖縄関係の業務に携わった経験はありますが、沖縄での勤務は初めてとなります。これまでの業務を通じ、沖縄の皆様には、大きな基地負担を担っていただいていることを強く感じてきたところであり、沖縄に赴任することができたからこそ、現場において、基地負担の軽減に全力で取り組んでまいり所存です。そして、地元の皆様のお話をしっかりと伺いながら、皆様との信頼関係を構築してまいりたいと思います。



調達部長 かみたに やすはる 上谷 康晴

8月1日付で調達部長を拝命しました上谷です。沖縄防衛局での勤務は15年ぶりですが、これまで防衛本省においても沖縄における防衛施設の整備計画に携わっており、現場での勤務を大変嬉しく思っております。調達部の主な業務は、防衛力の基盤である自衛隊及び米軍の任務遂行に必要な施設の整備であり、建設工事を円滑に進めていくには、地域の皆様のご理解とご協力、そして関連する企業の皆様との連携が必要不可欠です。地元沖縄の皆様のお考えをしっかりと聞きしながら、防衛施設の整備を通じて、安全保障と地域経済の好循環に貢献できるよう、職員とともに諸課題に取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

米海軍による慰霊の日前夜の灯火イベントへのボランティア活動



アメリカ海軍からは70名以上のボランティアが参加



沖縄戦終結から80年を迎えた慰霊の日の前日である6月22日に、在沖米海軍の軍人とその家族は、糸満市の平和祈念公園で毎年開催されるイベントに参加し、平和への願いを込め約7,000本のろうそくを灯しました。

アメリカ海軍は毎年、世界平和を提唱する地元の非営利団体・万国津梁の会が主催するイベント「平和の灯火」に特別招待されており、今年度は70名以上がボランティアとして参加しました。



数百本ものろうそくで形作られた「平和80」の文字

■ イベントを主催するNPO法人『万国津梁の会』代表松川直樹氏のコメント

沖縄出身の私は、平和を祈る心が本当に重要だと常にかけてきました。このイベントの目的は、戦争で亡くなった方々を偲ぶこと、世界平和を推進すること、平和のメッセージを次の世代に伝えていくことです。

■ 家族と共に参加した在沖米海軍艦隊活動司令部司令官ジョセフ・パーソンズ大佐のコメント

沖縄戦終結から80周年の節目を迎えることに特別な思いがあります。沖縄に着任し、初めて平和記念公園を訪れましたが、とても心打たれる経験でした。

地元の方々と米海軍の軍人とその家族が、共に協力してこの追悼事業を行うことは、沖縄に駐留する上でとても特別で有意義なものです。

米国防省広報サイト 「DVIDS」2025.6.22付記事より抜粋

宜野湾ハーリー大会で普天間海兵隊チームが善戦

「宜野湾はごるもハーリー大会2025」が7月6日、宜野湾市・宜野湾マリーナにて開催され、宜野湾市の故・松川正則市長から声をかけられ参加するようになった普天間飛行場基地司令官ウィリアム・C・パカーティ大佐が率いる「グリーン・レッド・女性」の3チームが参加しました。普天間飛行場所属の海兵隊員は、こうした地域との交流に積極的に参加し、地元の人達とコミュニケーションを図ることで、沖縄の生活・文化を知り、海兵隊員とその家族が、良き隣人・良き友人として信頼の絆を深めるよう日々努めております。

今年の大会は、開会式直後の大雨で一時的に開催も心配されましたが、無事晴天に恵まれ、40チームによる熱戦が繰り広げられました。レース直前には、宜野湾市役所職員で構成されたチームに参加していた佐喜眞宜野湾市長とパカーティ大佐がエールの交換をする一幕もあり、周辺は和んだ雰囲気になりました。

レース結果は、普天間飛行場から出場した3チームは惜しくも準決勝進出を逃しましたが、女性チームが女性部門1位の栄冠を手に入れました。レース後、パカーティ大佐は「思ったより成果が出て良かった。今回は準決勝に進むことが出来なかったのですが、また来年も参加して上位を目指したい。普天間飛行場チームからは3チーム出場したが、3チームがライバル心を持って競い合う姿を見て楽しかった。ハーリーを通じて、沖縄の文化に触れることができ、地域の皆さんと一体となることが出来たので大変有意義でした。また来年も参加したいと思います。」と語られました。この後、パカーティ大佐と松島管理部長は、来年は普天間飛行場基地と沖縄防衛局によるユニットを結成し、大会を盛り上げることを約束してお互い会場を後にしました。



グリーン・チーム



レッドチーム



(左から)松島管理部長、ウィリアム大佐、佐喜眞宜野湾市長



ゴール直後の女性チーム

久志区アブシバレー・ハーレー大会

5月18日、快晴の下、久志区海岸で「久志区アブシバレー・ハーレー大会」が開催され、当局は沖縄防衛局企画部チームとして参加しました。

当日は快晴の中、船頭の鳴らす鐘の音に合わせて参加チームの掛け声、多くの観客の声援により、大会は大いに盛り上がりました。

当局職員が参加した職域レースでは、安里区長の見事な舵捌きによりスピードを落とすことなくゴールができ、職域の部で優勝を勝ち取ることができました。

この久志区ハーレー大会は豊作・豊漁、海の安全祈願が込められた伝統のある行事であり、区民の皆様にとって親睦を深める大切な行事です。

当局職員も、ハーレー大会を通じて区民の皆様と交流を行い親睦を深めることができました。



沖縄防衛局企画部チームと安里区長

豊原区アブシバレー・ハーレー大会

6月15日、気持ちの良い青空の下、豊原クンジダー浜で「豊原区アブシバレー・ハーレー大会」が開催され、当局は沖縄防衛局企画部チームとして参加しました。

当日は天気にも恵まれ、参加チームの漕ぎ手の掛け声、応援に駆け付けた多くの観客の声援により、大会は大いに盛り上がりました。

当局職員が参加した職域レースでは、残念ながら結果は振るわないものとなりましたが、レース後の疲れた体に、区から温かい豚汁が振る舞われ、当局職員みんなで美味しくいただきました。

豊原区民の皆様にとって大切な行事に参加することができ、親睦を深める良い機会となりました。



沖縄防衛局企画部チーム

辺野古区ハーレー大会

8月17日、輝く太陽の下で、辺野古松田ヌ浜で「辺野古区ハーレー大会」が開催され、当局からは沖縄防衛局企画部チーム及び名護防衛事務所・調達部混合チームが参加しました。

また、辺野古区11班である、キャンプ・シュワブからも多数の海兵隊員が参加し、ハーレー大会を大いに盛り上げました。

この辺野古区ハーレー大会は五穀豊穡を祈願するアブシバレー行事の一環で、区民の皆様にとって大切な行事です。

当局職員が参加した職域レースでは、残念ながら結果は振るわないものとなりましたが、ハーレー大会を通じて辺野古区民の皆様と交流を行い親睦を深めることができました。



沖縄防衛局企画部チーム



名護防衛事務所・調達部混合チーム

うるま市天願公園落成式

6月22日、うるま市天願公園の落成式が行われ、関係者の方々が出席し公園の完成を祝いました。

本施設は、地域住民がスポーツやレクリエーションを通して、健康増進やコミュニティ活動の場として活用するため、当省の防衛施設周辺整備助成事業を活用して整備したものです。

当局といたしましては、地域住民の皆様方の生活と防衛施設との調和を図ることが何よりも重要であると認識しており、今後とも防衛施設周辺の皆様方の生活の安定及び福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



屋外ステージにおける落成式テープカットの様子



遊具とウォーキング等に適した園路



多目的トイレ



幼児用遊具



天願区自治会長
瑞慶山 良則

この度は天願公園の建設に多大なるご支援とご協力をいただいた関係者の皆様をはじめ、地域住民の皆様のご尽力に対しても深く感謝申し上げます。

この公園は、ウォーキング等に適した園路や地域行事が行える屋外イベントステージをはじめ、安全面に考慮した遊具の設置、休憩所となる

東屋のほか、バリアフリーに配慮した多目的トイレの設置など地域の子供たちや高齢者の方々が安心して楽しめる場所となっています。

これからも、この公園が地域の皆様方の憩いの場として、末永く愛されることを願っております。



うるま市長
中村 正人

天願公園は天願自治会の皆様のご要望のもと、令和元(2019)年度より沖縄防衛局の補助を受けて事業開始いたしました。

天願区民皆様のご支援・ご協力により令和6(2024)年度に完成し、本年4月25日より開園することが出来ました。

事業にご協力いただきました天願区民の皆様、補助に尽力して頂いた沖縄防衛局関係者の皆様に

心よりお礼を申し上げます。

天願公園にある園路や遊具、ステージ等の施設は自治会皆様からのご意見・ご要望をもとに設置させていただきました。天願自治会の皆様におかれましては、日々の運動や憩いの場、また、災害時の一時避難所として大いにご活用して頂きたいと考えております。

UH-1Yヘリコプターからの落下事案

5月13日、飛行訓練中の米海兵隊普天間飛行場所属のUH-1Yヘリコプターから、信号炎管を含む救急救命用具が入ったアクセサリー・ギア・バッグが沖縄県本部半島に落下しました。事案発生直後から名護市等の支援も得ながら、米海兵隊員及び沖縄防衛局職員による地上捜索に加え、民間企業に委託したドローンによる日米共同の捜索を続けてきましたが、発見に至らず、6月6日に捜索を終了しました。

この事案を受け、在沖米海兵隊司令部は「飛行前に機内の全ての備品が確実に固定されていることについて、チェックリストに基づく確実な点検を引き続き実施し、飛行中における機内の備品を適切な場所に配置する要領について見直すとともに、必要があればそれを修正する」の措置を執ることとしました。

発見されていない落下物の信号炎管は、手動で作動させるもので、自然発火する危険性は極めて低いのですが、発火性の物質であるため、発見された方は触れずに、沖縄防衛局またはお近くの警察署にご一報をお願いします。



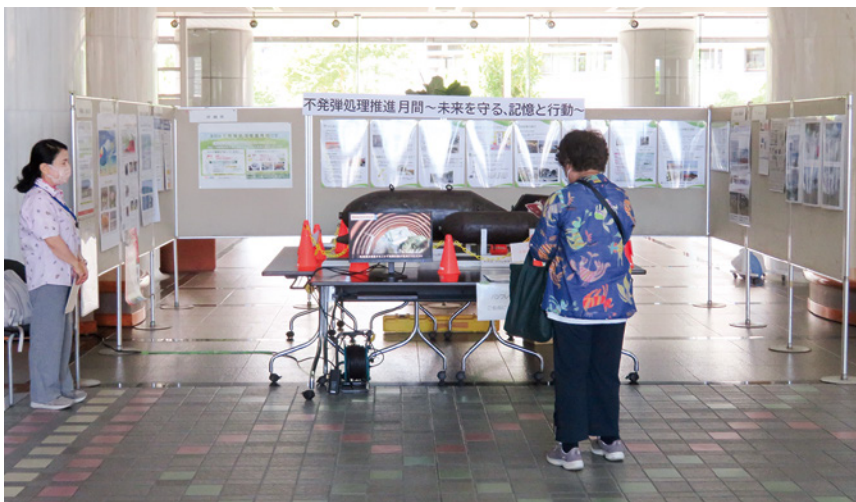
日米による捜索風景



アクセサリー・ギア・バッグ

沖縄県主催の不発弾対策パネル展への協力出展

8月1日から7日まで沖縄県庁1階ホール、また、8月8日から9月5日まで琉球新報社本社ビル1階において、沖縄県主催の「不発弾処理推進月間パネル展」が開催されました。同パネル展は、不発弾の危険除去に関する県民への啓発を目的として沖縄防衛局、沖縄総合事務局、陸上自衛隊、海上自衛隊、沖縄県警察本部及び（一社）沖縄県磁気探査協会が協力したもので、沖縄防衛局からは自衛隊又は駐留軍施設の建設工事現場や駐留軍用地返還跡地における磁気探査による不発弾の有無確認に関するパネルを展示しました。



沖縄県庁1階ホールでの開催風景

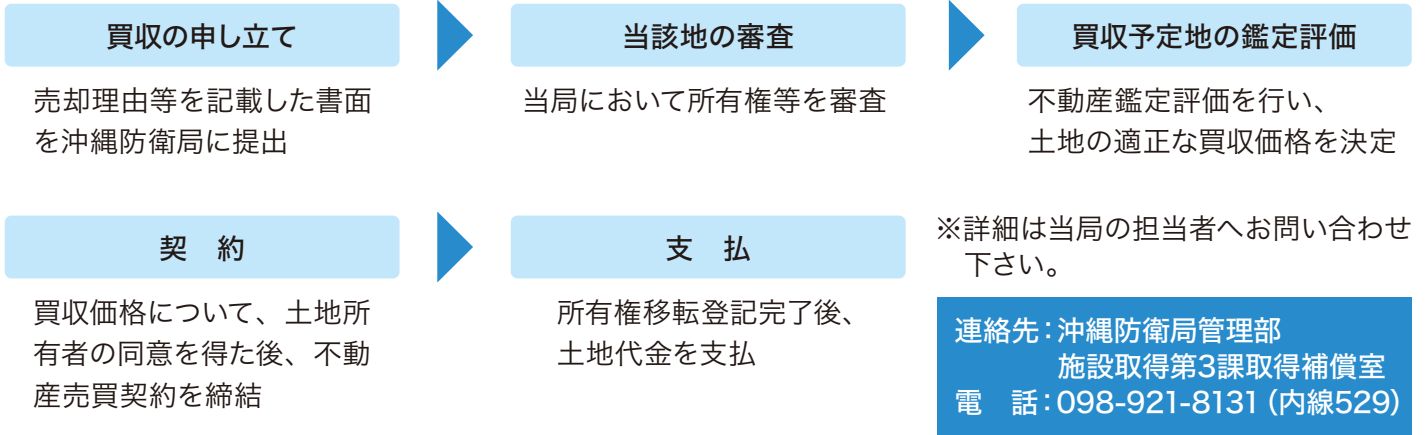


当局展示パネル

駐留軍施設の用地買収

駐留軍施設用地として賃貸借契約で提供していただいている土地について、土地所有者の方から買収のご要望をいただいた場合、審査等を行った上で、予算の範囲内において買収を実施しておりますので売却を検討中の土地所有者の方は、ご連絡をお待ちしております。

用地買収の主な流れ



租税上の措置

駐留軍用地を国に売却した場合は、租税特別措置法第33条の4第1項第1号により譲渡所得金額から、5,000万円までの控除を受けることが出来ます。

民間売買の場合は、売却収益の約20% が所得税及び住民税として課税されます。国に売却した場合は、5,000万円まで非課税となります。

相続登記の義務化

令和6（2024）年4月1日より、相続登記の申請が義務化されています。また、令和8（2026）年4月1日より、住所等の変更登記の申請が義務化されます。

沖縄防衛局では、駐留軍施設等に供する用地の賃貸借契約において、登記簿により所有者を確認しておりますが、正しく登記がなされていなければ、賃借料の支払いが遅れる又は債権者不確知により法務局へ賃借料を供託することとなります。

相続登記や住所等の変更登記の申請方法につきましては、専門家（弁護士、司法書士、土地家屋調査士）にご相談下さい。申請義務に正当な理由がなく違反した場合は、過料が科される可能性がありますのでご注意ください。



相続登記について知りたいときは

- 法務局ホームページでは、必要な準備や申請書の記載方法等をまとめた「登記申請手続のご案内」（登記手続ハンドブック）を提供しています



- 全国の法務局では、**手続案内（予約制）**を行っています

（各法務局の案内については
こちらから



（ウェブ登記手続案内について
はこちらから



- **専門家（弁護士、司法書士、土地家屋調査士）に相談**したい場合は、こちら

日本弁護士連合会の
ホームページ（法律
相談のご案内）



日本司法書士会連合
会のホームページ
（登記手続のご案内）



日本土地家屋調査士
会連合会のホーム
ページ（表示に関す
る登記のご案内）



読谷村大木南土地区画整理事業竣工式

8月30日、読谷村大木南土地区画整理事業の竣工式が総勢100名の関係者の方々が出席し、盛大に行われました。

本区画整理事業は、トリイ通信施設の一部返還区域の返還跡地の有効活用を図るため、土地所有者自らが組合施行による土地区画整理に取り組まれた事業です。

沖縄防衛局としましては、同事業の『安心して暮らせるまち』とのコンセプトのもとに返還跡地が住宅地区に生まれ変わっていくことを大変うれしく思います。



竣工式祝賀会

《主催者挨拶(読谷村大木南土地区画整理組合 理事長 長濱宗則)》

読谷村大木南土地区画整理事業の竣工を迎えることができますのは、組合員のご理解ご協力並びに関係各位のご支援ご指導の賜物であり心より感謝申し上げます。本地区は、米軍からの返還後に沖縄防衛局による支障除去が行われ、引渡しを受けた後の令和2(2020)年6月から区画整理事業の計画策定に取組み、令和3(2021)年4月に組合設立認可を得て本事業に着手しました。本事業を工程どおりに進めることが出来たのは、沖縄防衛局の支援、読谷村によるインフラ等の整備、無事故で安全に工事を施工した工事業者及び円滑に事業を推進させたコンサルタントの力などが結集できた成果だと感謝しています。重ね重ねお礼申し上げます。



長濱理事長の挨拶

駐留軍従業員への石綿(アスベスト)被害の救済措置

沖縄の米軍関連施設で石綿(アスベスト)にさらされる仕事をしていた方とそのご家族・ご遺族のみなさまに大切なお知らせです。

沖縄米軍関連施設での工作中に石綿にさらされたことにより次のような疾病にかかった場合、労災保険制度または石綿健康被害救済制度に基づく補償または救済を受けられる可能性があります。

対象となる疾病： 中皮腫、石綿肺、石綿起因性肺がん、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚

	労災保険給付	特別遺族給付金	救済給付
支給対象者	①沖縄復帰後に米軍関連施設で働いていたことが原因で石綿による疾病を発症した方(本人) ②上記の遺族の方	①令和8年3月26日までに亡くなった労働者の遺族の方 (注)労災保険の遺族補償給付を受ける権利が時効(5年)によって消滅された場合に限られます。 ②労働者が亡くなった時期により、支給対象となる給付が異なります。	①石綿による健康被害(中皮腫、肺がん、著しい呼吸機能障害を伴う石綿肺、著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚)を受けた方(本人) ②上記の遺族の方 (注)労災保険給付・特別遺族給付金の対象とならない場合のみ
給付内容	①本人 ・療養補償給付 ・休業補償給付 ②遺族の方 ・遺族補償給付 など	特別遺族給付金を支給 1年あたり240万円の年金または1,200万円の一時金(遺族が1人の場合。遺族の人数によって年金の支給額は異なります。)	①本人 ・医療費(自己負担分) ・療養手当(1ヵ月あたり約10万円) ②遺族の方 ・特別遺族弔慰金 など
請求期限	給付内容により異なります。 ※遺族補償給付の請求権は、ご本人が亡くなった日の翌日から5年で時効により消滅します。時効による消滅後は、特別遺族給付金の対象となります。	令和14年3月27日	給付の種類、対象疾病、死亡時期により異なります。

詳しくはお近くの労働基準監督署
または労働局にご相談ください

那覇監督署 TEL 098-868-8040 沖縄監督署 TEL 098-916-6335
名護監督署 TEL 0980-52-2691 宮古監督署 TEL 0980-72-2303
八重山監督署 TEL 0980-82-2344 沖縄労働局労働基準部労災補償課 TEL 098-868-3559

労災保険給付・特別遺族給付金の対象とならないことが確認できている方は、独立行政法人環境再生保全機構(TEL 0120-389-931)またはお近くの保健所に救済給付についてご相談ください。

厚生労働省 石綿を扱う仕事や症状などの情報は、厚生労働省ホームページの「アスベスト(石綿)情報」をご覧ください。

- ※ 沖縄の米軍関連施設で石綿にさらされる仕事をしていた方については、一般財団法人 沖縄駐留軍離職者対策センター(TEL 098-923-0151)においてもご相談を受け付けております。
- ※ 本土復帰後に沖縄の米軍関連施設で石綿にさらされる仕事をしていた方については、沖縄防衛局(TEL 098-921-8215)又は独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構沖縄支部(TEL 098-921-5534)においてもご相談を受け付けております。

在日米軍従業員募集

エルモでは、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。



【X】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報（エルモ）@LMO_recruit」

【X】



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ沖縄支部管理課管理第一係

住所：沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良1058番地1

電話：098-921-5532

<https://www.lmo.go.jp>

LMO

検索

エルモホーム
ページ



沖縄基地の事前募集

